

次号予告

特集 製鉄業における製造工程最適化のためのOR技術

鉄鋼原材料配合計画の最適化……………小林敬和 (新日本製鐵(株)環境・プロセス研究開発センター), 他
薄板生産管理システムへの最適化・シミュレーション技術の適用

……………山口 取 (JFE スチール(株)スチール研究所計測制御研究部), 他
DHCR スケジューリングのための製鋼・熱延スケジューラ連携方式

……………濱 利行 (日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所),
吉住貴幸 (日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所)

鉄鋼プロセスにおける統計的アプローチによる品質作り込み

……………中川義明 (株)住友金属小倉), 北田 宏 (住友金属工業(株)総合技術研究所)

製鉄所におけるスケジューリング業務のシステム化に求められる技術

……………岩谷敏治 (株)神戸製鋼所技術開発本部生産システム研究所)

編集後記

●本誌には「経営の科学」とのタイトルが付してあります。科学については読者諸氏の見識にお任せするとして、本誌の取り扱う分野が科学に属すと主張しているところに注目しましょう。数学や物理など俗にいう自然科学の分野で「数学の科学」という表現がなされたとしたら、「頭痛が痛い」に通じる居心地の悪さを感じます。しかし、経営の科学にその種のごちなさはあまりないようです。科学的でない何かが本誌の対象の背景に漠然とあり、その共有感から科学であると制限(宣言)したいのではと推測できます。では、その非科学はどこから感じているのでしょうか。

●ORの手法は科学的特徴を有します。そこで、手法ではなく扱う対象に非科学的な部分があるとの答えが可能でしょう。ただし、モデル化、解析、意思決定と

のOR実施サイクルの中で限定すると、意志決定の部分がヒトの「心」に近い分だけ科学的ではないとの予覚が多いのかもしれませんが、その状況からも科学的に意思決定数理モデルへの取り組みは貴重でしょう。科学的に取り扱える範囲を広めて、さまざまな場面で活用が可能な知見を整備しておく重要性をここで強調するまでもありません。

●そういえば、政治の科学、言語の科学、ガンダムの科学(これは少し違うかな……)など「○○の科学」の型で表現している研究分野が結構あります。類似表現に「○○の数理」もあります。これらの表現はその分野からOR分野に向けてのシグナルである気がします。さまざまな分野での活用に取り組んでみてはどうでしょう。その成功・失敗・苦勞の言は本誌にぜひご提供ください。(根本俊男)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 松井知己 (中央大学)

委員 池邊淑子 (東京理科大学), 石井儀光 ((独)建築研究所), 恐神貴行 (日本アイ・ビー・エム(株)), 神山直之 (中央大学), 川田丈浩 (日本電信電話(株)), 木村新之介 (東京ガス(株)), 草刈君子 (株)サイテック・ジャパン), 小林憲正 (東京工業大学), 齋藤彰一 (株)構造計画研究所), 武内陽子 ((公財)鉄道総合技術研究所), 田島博之 (秀明大学), 筒井美樹 (財)電力中央研究所), 鳥海重喜 (中央大学), 生田目崇 (専修大学), 西川武一郎 (株)東芝), 根本俊男 (文教大学), 牧本直樹 (筑波大学), 宮代隆平 (東京農工大学)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成23年10月号 第56巻 第10号 通巻610号

代表者 数 土 文 夫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 03-3851-6100 FAX 03-3851-6055 〒101-0032
<http://www.orsj.or.jp/>

編集人 松 井 知 己

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151-0051

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価970円(本体924円)年間予約購読料11,040円(税含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)へ